



# 南の風



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、  
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

## 自分の花を咲かせよう



ふとした日差しに夏を感じる日があるかと思えば、雨模様で肌寒い日もあり、体調管理が難しい今日この頃です。

先日行われた運動会では、子どもたちへの温かい応援をありがとうございました。子どもたち一人一人がめあてをもち「走り抜け！仲間とともに全力で！」のスローガンのとおりに、最後まで諦めずに頑張る姿や仲間を応援する姿が見られ、嬉しく頼もしく思いました。保護者の皆様には、準備や片付け等ご協力をいただきありがとうございました。



さて、今月の全校集会では、本校で育てたい4つの力、自律性・創造力・論理的思考力・コミュニケーション力のうち、自律性について次のような話をしました。

皆さん、運動会では全力で自分の力を出し切り、すばらしかったですね。そこで、代表して6年生の応援団の皆さんにインタビューしました。応援団をやってみての感想は、「楽しかった。休む暇がなかった。でも、やってよかった。」という声が聞かれました。では、次にどう生かしていきますか？という質問に「あいさつや返事をしっかりやりたい！礼儀正しい態度で生活する」と答えてくれました。さらに「自分から行動したい」という声があり、これは自律性の第一歩。「自分の考えをもって、自分から行動したい！」という意欲が、応援団という活動をとおして、子どもたち自身が気づいたことは、大変すばらしいことだと思います。

さらに、詩人の安積得也さんの「明日」という詩を紹介しました。この詩の一節に

「人皆に 美しき種子(たね)あり 明日何が咲くか」という言葉があります。みな一人一人種子をもち花を咲かせます。一人一人がもっている良さや可能性の種子の花は、一つとして同じ形や色のものはなく、花咲く時期も異なります。自分の良さや可能性の種子を育てて、素敵な花を咲かせるための一つとして、自分のめあてや

目標に向かって、「行動に移すこと」が大切になります。また、自分のことだけでなく、友だちの良いところや素敵などところにも目を向け、それを友だちに伝えたり、自分にも取り入れたりすることができるようになって欲しいと願っています。子どもたち一人一人が自分の花を咲かせられるように、励まし見守っていこうと思います。

「明日」 安積 得也 作

はきだめに	えんど豆咲き
泥池から	蓮の花が育つ
人皆に	美しき種子(たね)あり
明日何が咲くか	

(『詩集 一人のために』より)

